

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名:岡山市 都市整備局

事業の名称:岡山駅西口交通広場整備事業

実施都市名:岡山県岡山市

事業目的

岡山駅は一日約15万人が利用し、山陰、四国方面へ連絡する南北軸の結節点で、中四国地方有数の拠点駅であります。しかし、鉄道で分断された岡山駅西口地域は駅東口と比べて交通結節点としての機能が活かされておらず、にぎわい創出やバリアフリー化が不十分などの課題がありました。このため、交通結節点の充実及び強化、利用者の利便性・快適性の向上を図るため、岡山駅東西連絡通路を新設するとともに、西口広場を整備拡張したものです。

事業概要

事業名称:岡山駅西口交通広場整備事業

路線名:都市計画道路 上石井北方線
岡山駅西口交通広場

事業箇所:岡山県岡山市北区駅元町地内

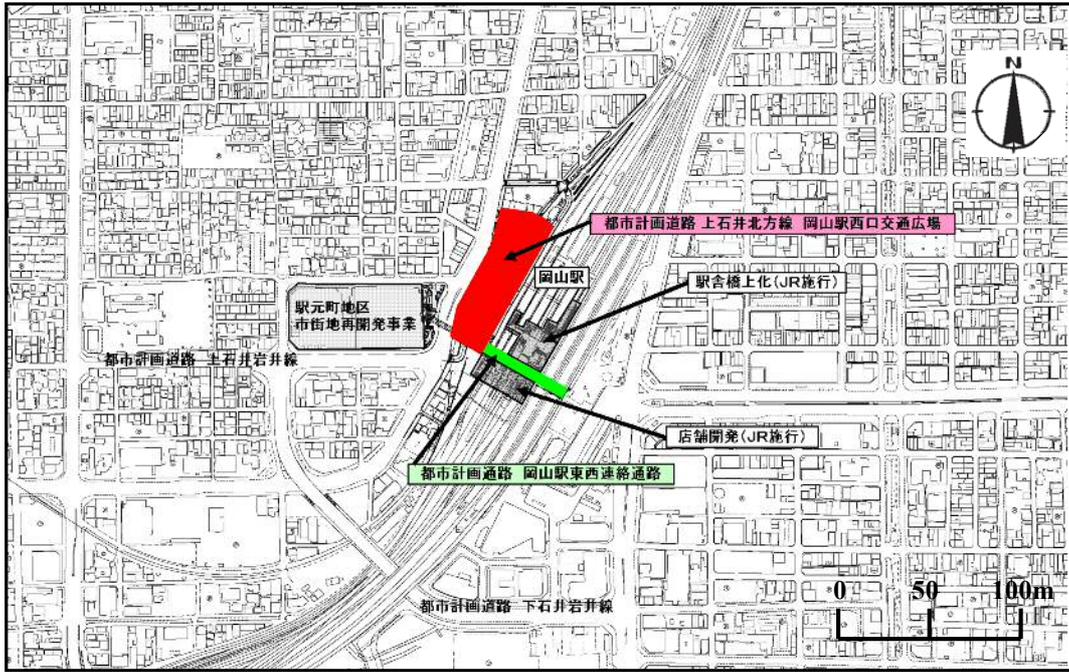
広場面積:約13,500㎡

事業費:約107億円

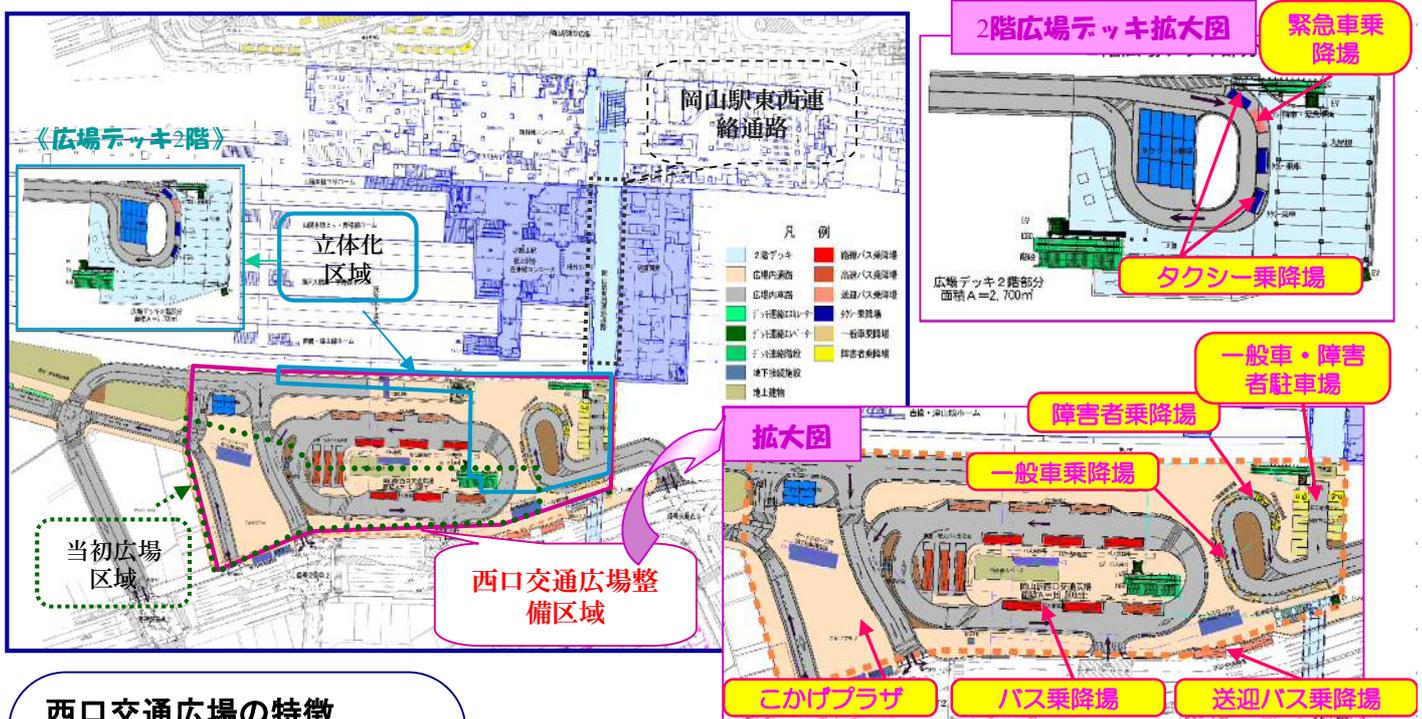
事業実施期間:平成15年度～平成22年度

本事業は、JR岡山駅において東西連絡通路整備と西口交通広場整備にあわせ、JRが駅舎の橋上化を行い、西口交通広場を4,000㎡から13,500㎡に拡張し、バス・タクシー・一般車乗降場や、一般車駐車場などを機能的に配置しました。また、ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、主な歩行線上に点字ブロック、エレベーター、エスカレーター、触知サインやピクトグラムを採用した情報案内板を設置しました。

事業位置図



全体図(平面図)



西口交通広場の特徴

- ユニバーサルデザイン
点字ブロック・エレベーター・エスカレーター
- 利便性・快適性の追求
センタープラザの設置
テラスの設置
- 大屋根
明るく広々とした空間
- こかげプラザ
人々が集い語らう広場

西口交通広場の主要施設

構造：2層構造 1階；一般者乗降場、バスターミナル
2階；タクシー、緊急車乗降場

昇降施設：エレベーター、エスカレーター

乗降施設：バス乗降場(路線、高速、空港)、タクシー乗降場、一般者乗降場、障害者乗降場、緊急車乗降場、送迎バス乗降場

駐車施設：一般者駐車場、障害者駐車場

待機施設：バス待機場、タクシー待機場

岡山駅西口交通広場整備事業の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 岡山駅西口交通広場整備事業
 路線名: 都市計画道路上石井北方線
 岡山駅西口交通広場
 事業箇所: 岡山県岡山市北区駅元町地内
 広場面積: 13,500㎡
 総事業費: 約107億円
 事業期間: 平成15年～平成22年度

○交通量調査結果

東西通り抜け交通量(24時間交通量)
 供用前 11,591人
 供用後 33,330人

賑わいをみせる
 通路



「整備効果」

○交通結節点機能の強化

- ・高速バス、観光バス、空港リムジンの発着
- ・バス乗降場の拡大; 2台⇒9台(その他、待機場3台新設)

○ユニバーサルデザイン

- ・高齢者・障害者への配慮から、一般乗降場を1階、タクシー乗降場を2階のいずれも東西連絡通路の近い位置に配置
- ・障害者乗降場; 0台⇒2台、障害者駐車場; 0台⇒2台

○快適性の強化

- ・各乗降場に上屋を設置
- ・広々とした空間; 広場面積4,000㎡⇒13,500㎡

「その他の事業効果」

- 柱や壁の一部に岡山ゆかりの備前焼等を用いた落ち着いた色調で、温かみを感じられる。
- 大屋根を設置し、日中は光が降り注ぐ、明るく広々とした空間。
- こかげプラザを設置し、人々が集い語らうことが出来るスペースの確保。



一般乗降場
 から駅へ簡単
 アクセス

事業前写真 平成18年9月撮影



従前の岡山駅西口広場



一般車とバスが輻輳する乗降場



一般車駐車場とタクシー乗降場が混在



自転車が駐輪しており整然としていない広場



従前の東西連絡通路

事業後写真



平成22年5月に完成した駅前広場（平成22年10月撮影）



天然木を使った大屋根空間
（平成22年9月撮影）



大屋根のあるタクシー乗降場
（平成22年10月撮影）



駅からのアクセスが向上したバス乗降場
（平成22年10月撮影）



ユニバーサルデザインに配慮した案内板（平成22年10月撮影）